**第３学年１組　国語科学習指導案**

１　**単元名・教材名**　言葉　ローマ字

２　**本時の学習指導**　（本時１／２）

（１）目標

　　○ローマ字に興味を持ち、基本的なローマ字を書くことができる。

（２）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学習活動** | **学習内容** | **指導と評価の創意工夫** | **時間** |
| １　本時の学習活動をつかむ。２　ア行の表記を学ぶ。　３　五十音のアルファベットの配列を理解する。＜予想される児童の反応＞・か、さ、た、を伸ばすと全部最後が「あ」になっている。４　子音の表記を学ぶ。４　練習問題を行う。５　本時のまとめを行う。 | ・本時の学習課題ローマ字を書けるようになろう　パート１・アルファベットの読み方と書き順・フラッシュカードを用いて確認・教科書p120,121のローマ字表　　　　　　　　　　　　　・アルファベットの読み方と書き順・フラッシュカードを用いて確認・２～５文字程度の練習問　　　　題○ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。→練習問題に積極的に取り組み、他の児童のローマ字も確認しようとする。【関心・意欲・態度】○ローマ字表記の基本を理解し、簡単な単語を、読んだり書いたりしている。　→練習問題を行ったノートを確認し、８割以上正解している。【言語活動】　（机間指導による考察）（ノートによる考察）このような姿が見られれば、「おおむね満足できる状態である」と判断できる。・本時のまとめ | ○身の回りのローマ字を用いて、導入を行うことで、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。○黒板で書き順を確認し、空書きをさせてからワークシートに記入させることで、正しい書き順を覚えることができるようにする。○あ～おのひらがなを提示し、児童に黒板へアルファベットで書かせることで、確認できるようにする。○母音を伸ばさせることで、配列の規則性を見付けることができるようにする。○行の規則性を見付けさせることで、表全体の仕組みを理解できるようにする。○ア行と同様に行う。○ア行と同様に行う。○黒板に問題を書き出し、児童に取り組ませ、知識の定着を図り、活用できるようにする。○机間指導を行うことで、児童の進度を確認し、できているところと課題点を把握する。○本時の振り返りを行い、時次の予告をする。 | ５’５’５’５’５’５’１０’５’ |

４　板書計画



５　備考　在籍児童数　３５名